

【NEWS RELEASE】

2020年10月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社メイコーに「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社メイコー（代表取締役社長：名屋 佑一郎）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社メイコーに対する評価結果は、「従業員への配慮」、「顧客に対する誠実さ」、「ローカル/グローバル・コミュニティへの配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

従業員の有給休暇取得率や女性管理職比率、育児休業取得者数等の実績データをグループ会社も含めて把握し、多様性を尊重した働きやすい職場づくりを進めておられる点
 海外工場を含めた品質保証体制を整備し、顧客満足度調査の実施など細やかに顧客ニーズに対応しておられる点
 福島工場では敷地内の遊休地を活用してメガソーラーを設置し、地域の総世帯数の3分の1以上をカバーする発電量を提供するほか、ベトナムでは農業事業「GENKI FARM」の展開などを通じ、地域住民のニーズを踏まえた社会貢献活動を実施しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「目標12：つくる責任 つかう責任」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客様のESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



地元福島の復興・発展のみならず、
持続可能な社会への実現に
貢献しています。



自社内資源回収を進める事で、
天然資源の枯渇防止となり、
地球環境保護に貢献しています。



地域住民のニーズを踏まえた
社会貢献活動を実施しています。

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。